



あなたにライバルはいますか

校長 鈿持 利行

「自分ひとりでは、くじけていたかもしれないけれど、ライバルの存在があったから成長できた」と、こんな話を聞いたことがある人も多いかと思います。実は、「ライバルの存在があったからここまでこれた」と語る人には、次の3つの共通点があるようです。

共通点1 ライバルの存在をモチベーション〔動機付け・やる気・意欲〕にできる

ライバルがいることで成長できる人の共通点、一つ目は「ライバルの存在をモチベーションにできる」という点です。一人だと張り合いがないことでも、ライバルがいれば、「あの人には、負けたくない」「ライバルも頑張っている」など、自分をふるいたたせるキッカケになります。ライバルの存在が「頑張りを続けるエンジン」になるわけです。

共通点2 独自性を養成している

ライバルがいて、一番強く思うのが「勝ちたい」という気持ちです。「勝つためには…」と様々な思考を繰り広げることでしょう。ライバルと同じことをやっていたのでは、圧倒的な勝利を手にするにはできないはずです。Apple 創業者のスティーブジョブスの名言に「女性にライバルがバラを十本贈ったら、君は十五本贈るかい。そう思った時点で君の負けだ」という言葉があります。ライバルに勝つには「バラをバラで返す」のではなく「自分なりの独自性」が必要になります。ライバルに勝ちたいという思いが、自分自身の独自性を促進して、そのことが成長につながります。



共通点3 ライバルの存在が油断を断つ

3つ目の共通点は、自分自身に芽生える「油断を断つことができる」ということです。常にライバルの動向を気にし、負けないで準備し続ける。そういった姿勢を保つことで、油断から身を守っているのです。一人だと、自分自身しか比べる対象がないのですが、ライバルの存在があることで自然と「成長しなくてはならない」という意識になるのでしょうかね。

また、ライバルと切磋琢磨することで成長できる人は、どのような人をライバルと考えているのでしょうか。実は、理想的なライバルに挙げられるのは「自分に似ている人」である場合が多いそうです。あまりにも自分と異なる人をライバルにしてしまうと、負けた時の言い訳につながってしまうことがあります。自分と似ている人、似た境遇を体験してきた人、負けても言い訳のできない相手こそが、理想的なライバルと言えるのです。競い合うことは、自分の成長につながります。ライバルの存在は自分を奮い立たせるものなのです。強い気持ちをもつ人は「ライバルに負けない」という気持ちと同時に「自分にも負けない」という思いがあります。自分を成長させることのできる自分自身のライバルは何か少し考えてみてください。

9月6日（水）港区中学校水泳記録会が行われました

夏休み明けすぐの水泳記録会でしたが、生徒は全力を尽くして頑張りました。開会式では3年生の尾形嘉春君が代表として、選手宣誓を行いました。競技の結果は以下のとおりです。

【男子】	1年	50m自由形	第7位	〇〇 〇〇	0' 36" 88	
	2年	50m自由形	第5位	〇〇 〇	0' 32" 12	
	3年	50m自由形	第7位	〇〇 〇〇	0' 36" 71	
	1年	50m平泳ぎ	第5位	〇〇 〇〇〇	0' 46" 09	
	2年	100m平泳ぎ	第7位	〇〇 〇〇	1' 41" 05	
	3年	100m平泳ぎ	第5位	〇〇〇 〇〇	1' 41" 40	
	共通	50mバタフライ	第3位	〇〇 〇〇	0' 34" 20	
	共通	100m自由形	第1位	〇〇 〇〇	0' 57" 35	<大会新記録>
	共通	50m背泳ぎ	第7位	〇〇 〇〇	0' 43" 95	
	共通	200mリレー	第2位	高松中	2' 02" 04	
【女子】	1年	50m自由形	第3位	〇〇 〇〇〇	0' 37" 95	
	2年	50m自由形	第4位	〇〇 〇	0' 40" 06	
	3年	50m自由形	第5位	〇 〇〇	0' 40" 62	
	1年	50m平泳ぎ	第6位	〇〇 〇〇	0' 53" 02	
	2年	50m平泳ぎ	第5位	〇〇 〇〇	0' 50" 03	
	3年	50m平泳ぎ	第3位	〇〇 〇〇	0' 51" 21	
	共通	100m自由形	第4位	〇〇 〇〇	1' 20" 06	
	共通	100m平泳ぎ	第1位	〇〇 〇〇	1' 28" 06	<大会新記録>
	共通	50m背泳ぎ	第4位	〇〇 〇〇	0' 50" 80	
	共通	200mリレー	第3位	高松中	2' 26" 75	

3年生から2年生へバトンが渡されました

9月15日（金）に生徒会役員選挙が行われ、新しい生徒会役員が決定しました。また、専門委員会も2年生から委員長が選出され、3年生から2年生にバトンが引き継がれました。さあ、受け取った2年生はどんなリーダーシップぶりを発揮してくれるのでしょうか。2年生は10月4日に行われる「連合体育大会」、12、13日は「職場体験」と学校の外に出かけます。高松中学校の『顔』として、真剣に取り組む姿をみせてほしいと願っています。

また、この体験を通して、働くことの意義や社会のルール等についても考えてみましょう。

特別支援教室の通室の申し込みについて

平成30年4月から、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に本校において通級指導を行う『特別支援教室』を開室します。『特別支援教室』とは巡回指導教員が生徒の在籍校を巡回し、コミュニケーションや学習面で課題や心配がある生徒を対象に指導を行う教室です。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員についても今まで通り配置を希望することができます。平成30年4月から、『特別支援教室』の通級を希望される保護者の方や学習支援員の配置を新規に希望される保護者の方は、11月17日（金）までに担任、特別支援コーディネーター（鴨川）、または副校長に連絡してください。